

## 令和6年度シラバス（地理歴史）

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	地理歴史(日本史探究)	単位数	3単位	学年(コース)	5学年 (文系)
使用教科書	山川出版社『詳説日本史』				
副教材等	浜島書店『新詳日本史』 とうほう『ウィニングコンパス日本史の整理と演習 2023』				

### 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に着け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</li> <li>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</li> <li>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</li> </ul>
カリキュラム・ポリシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</li> <li>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</li> <li>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</li> <li>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</li> <li>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</li> </ul>

### 2 学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

### 3 指導の重点

- (1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

#### 4. 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

#### 5 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・課題考査、定期考査 ・授業中の取組 ・提出物、課題などの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題考査、定期考査 ・授業中の取組 ・提出物、課題などの内容の確認などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・課題考査 ・授業中の取組 ・提出物、課題などの内容の確認などから、評価します。

## 6 学習計画

月	単元名	授業 時数	学習活動 (指導内容)	評価の 観点	評価方法
4	第I部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕者期あへの成立  歴史資料と原始古代の展望  第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。・打製石器・磨製石器・縄文土器の発掘、堅穴住居の状況など考古学の成果によって教科書の叙述が成り立っていることに気づく。・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。・集落・墓の変容から富の蓄積を理解し、小国が形成される過程を東アジア世界との交流と関連づけて考察する。・原始社会の特色についての考察を踏まえ、時代を通観する問いを表現する。</li> <li>・中国の歴史書の記事をもとに、日本列島の倭の小国やヤマト政権(倭国)と中国・朝鮮半島の諸国との交流について、多面的・多角的に考察する。・古代の対外交流がヤマト政権や律令国家の展開に向かってどのように変化していったか、仮説を表現して展望する。</li> <li>・遺跡から出土した木簡の記載内容をもとに、文書主義を特徴とする律令制のもとで人・物・情報がどのように移動していたのか、多面的・多角的に考察する。・古代の中央・地方をめぐる物流や地方における文字文化の広がりについて、仮説を表現して展望する。</li> <li>・地域首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。・古墳時代後期から終末期の変容と、ヤマト政権の政治制度を理解する。</li> </ul>	a  b  c	課題調査 定期調査  課題調査 定期調査  授業の取り組み 振り返りシート
5	2 飛鳥の朝廷  第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道  2 平城京の時代  3 律令国家の文化  4 律令国家の変容  第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治  2 国風文化	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。・飛鳥文化に世界の諸地域の文化の影響がみられることを理解する。</li> <li>・律令国家が成立するまでの政治過程について考察する。</li> <li>・律令にもとづく国内統治体制について理解する。</li> <li>・律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。</li> <li>・平城京における政治動向について、土地政策も含めて考察する。</li> <li>・律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。</li> <li>天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。</li> <li>・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。</li> <li>・東アジアとの関係を踏まえて、唐風文化である弘仁・貞観文化を理解する。</li> <li>・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。・日本と東アジアとの関係において、民間の貿易や交流が中心となったことをとらえる。</li> <li>・大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。</li> <li>・摂関政治の在り方と文化の展開に、どのような関係があるかを考察する。</li> </ul>	a  b  c	課題調査 定期調査  課題調査 定期調査  授業の取り組み 振り返りシート
6	3 地方政治の展開と武士 第5章 院政と武士の展開 1 院政の始まり  2 院政と平氏政権  歴史資料と中世の展望	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・律令制にもとづく地方統治体制の崩壊への対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。・地方の反乱やその鎮圧など、武士の成長過程について、源氏などを例にとって考察する。</li> <li>・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。・外戚関係や人材登用など、後三条天皇が摂関家に遠慮せず改革を進めた背景を考察する。</li> <li>・政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特色について考察する。・古代から中世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。</li> <li>・政治や文化の中心であった中世の京都を描いた絵画作品から、情報を収集して読み取る技能を身につける。・資料から適切に読み取った情報をもとに、中世の特色についての仮説を表現して展望する。</li> </ul>	a  b  c	課題調査 定期調査  課題調査 定期調査  授業の取り組み 振り返りシート

	<p>第6章 武家政権の成立</p> <p>1 鎌倉幕府の成立</p> <p>2 武士の社会</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。・鎌倉幕府の成立時期をめぐる諸説に関して、それぞれの根拠を明確にして考察する。</li> <li>・承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、将軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。</li> <li>・武士の生活と地方支配を通じて、土地に対する実質的な支配権を地頭が掌握するに至った過程を考察する。</li> </ul>		
7	<p>3 モンゴル襲来と幕府の衰退</p> <p>4 鎌倉文化</p> <p>第7章 武家社会の成長</p> <p>1 室町幕府の成立</p> <p>2 幕府の衰退と庶民の台頭</p> <p>3 室町文化</p> <p>4 戦国大名の登場</p>	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。</li> <li>・非御家人に対する権限拡大など、幕府勢力が西国に浸透したことの意義を考察する。</li> <li>・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。・伝統的な公家文化の世界で、有職故実・古典研究などの学問が進展した背景を考察する。</li> <li>・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。・琉球・蝦夷ヶ島を含む東アジアとの交流が中世日本にもたらした影響について理解する。</li> <li>・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。</li> <li>・諸産業の発達による庶民の台頭を踏まえて、中世社会の多様な展開を幅広く理解する。</li> <li>・武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。</li> <li>・庶民文化の萌芽や、応仁の乱を契機とした文化の地方伝播、戦国大名の保護による文化の地方普及を理解する。</li> <li>・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。</li> </ul>	a	課題考査 定期考査
8				b	課題考査 定期考査
				c	授業の取り組み 振り返りシート
9	<p>第8章 近世の幕開け</p> <p>1 織豊政権</p> <p>2 桃山文化</p> <p>歴史資料と近世の展望</p> <p>第9章 幕藩体制の成立と展開</p> <p>1 幕藩体制の成立</p> <p>2 幕藩社会の構造</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大航海時代と呼ばれる世界史的背景を踏まえて、ヨーロッパ人の東アジアへの進出とその影響を考察する。</li> <li>・織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。</li> <li>・新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。・中世から近世への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。</li> <li>・生類憐みの令として知られる一連の法令から、情報を収集して読み取る技能を身につける。・資料から適切に読み取った情報をもとに、近世の特色についての仮説を表現して展望する。</li> <li>・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解する。</li> <li>・江戸幕府の鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、鎖国後の貿易関係の在り方も含めてその影響と歴史的意義について考察する。</li> <li>・幕藩体制の確立期の経済・社会を、兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。・被支配身分の特質や、周縁部分に生きる人々の社会的役割について理解する。</li> </ul>	a	課題考査 定期考査
				b	課題考査 定期考査
				c	授業の取り組み 振り返りシート
10	<p>3 幕政の安定</p> <p>4 経済の発展</p> <p>5 元禄文化</p> <p>第10章 幕藩体制の動揺</p> <p>1 幕政の改革</p> <p>2 宝暦・天明期の文化</p>	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。・諸藩における政治の安定化や刷新について、その特色を理解する。・幕藩体制の安定期の農業・商工業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。・全国市場の確立や都市の発達で商品流通が拡大し、各地で風土に応じた特産物が生まれたことを理解する。・経済の発展と関連して町人文化が形成されたことについて、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。・儒学の特色を理解し、その発達が他の学問に与えた影響を考察する。・農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩がおこなった諸改革の意義とその影響を考察する。</li> <li>・幕府や藩の支配に対しておこなわれた百姓一揆や、都市の打ちこわしの実態について理解する。・江戸中期に確立した洋学や国学、新たなかたちで展開する文学・芸能・美術について、社会の変容ともなう幕藩体制の動揺と関連づけて考察する。・幕府や藩による武士の教育に加え、民間でも私塾や寺子屋が開かれた背景について理解する。</li> </ul>	a	課題考査 定期考査
				b	課題考査 定期考査
				c	授業の取り組み 振り返りシート

11	3 幕府の衰退と近代への道	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕政の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。・近代化の基盤の形成について、産業経済面や軍事面などに着目して、雄藩の浮上という地方からの視点から考察する。・化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。・都市の民衆を中心とする芸能などが盛んになったことを理解する。・国際社会に組み込まれるという国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化と関わらせて考察する。</li> <li>・江戸幕府の威信低下と雄藩の台頭について、政治情勢の変化と列強の動向を関連させて理解する。・幕末の動乱における天皇を中心とする統一国家構想の芽生えから幕府の滅亡、旧幕勢力の掃蕩に至るまでの経過を理解する。・近世から近代への変化について考察し、時代を通観する問いを表現する。・五箇条の誓文のあつかわれ方について、諸資料から情報を収集して読み取る技能を身につける。②諸資料から適切に読み取った情報をもとに、近代・現代の歴史について仮説を表現して展望する。</li> <li>・日本の近代・現代における輸出入品の推移から、情報を収集して読み取る技能を身につける。・諸資料から適切に読み取った情報をもとに、近現代の日本の産業の在り方や課題について仮説を表現して展望する。</li> </ul>	a	課題考査 定期考査
	4 化政文化			b	課題考査 定期考査
	第11章 近世から近代へ			c	授業の取り組み 振り返りシート
	1 開港と幕末の動乱				
	2 幕府の滅亡と新政府の発足				
	歴史資料と近代・現代の展望				
12	第12章 近代国家の成立	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。欧米文化・思想の導入と近代化政策に対する士族反乱・農民一揆の発生と、言論闘争への転換を理解する。明治初期の対外政策について、欧米への対応とアジアに対する外交政策の違いについて考察する。政府の強力な中央集権体制への志向のもとで、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。・大日本帝国憲法の性格について具体的・多角的に理解する。東アジアをめぐる国際環境が変容する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。開戦に至る国際関係や、日清戦争の経過、戦後の日本の国際的地位の変化と植民地支配の推進について、諸外国の動向と関連づけて考察する。第一次世界大戦前後の政治の動向および対外政策の推移について、政党政治の発展や日本の中国進出の状況を踏まえて理解する。第一次世界大戦が日本の社会経済や政治に及ぼした影響について、欧米・アジア経済との関係や政党内閣の成立などに関連させて考察する。</li> </ul>	a	課題考査 定期考査
	1 明治維新と富国強兵			b	課題考査 定期考査
	2 立憲国家の成立			c	授業の取り組み 振り返りシート
	第13章 近代国家の展開				
	1 日清・日露戦争と国際関係				
	2 第一次世界大戦と日本				
1	3 ワシントン体制	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して理解する。・民主主義的風潮による社会運動の動向を理解するとともに、普選運動など政党政治の発展から二大政党による政党内閣制成立に至るまでの意義について考察する。日清・日露戦争前後にかまけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。・近代産業の発展にともなう社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察する。伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性をもって成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点をもって考察する。義務教育の普及・定着とともに、国家主義的教育が浸透していくことを理解する。・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や市民生活の変化を踏まえて、大衆文化の特色について考察する。・大衆文化の前提となる教育の普及・発展、マスメディアの発達について理解する。戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動盪について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解する。・社会主義運動の高揚と国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察する。</li> </ul>	a	課題考査 定期考査
	第14章 近代の産業と生活			b	課題考査 定期考査
	1 近代産業の発展			c	授業の取り組み 振り返りシート
	2 近代文化の発達				
	3 市民生活の変容と大衆文化				
	第15章 恐慌と第二次世界大戦				
	1 恐慌の時代				
2	2 軍部の台頭	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。・恐慌から脱出し、国家主義が高揚する中で、五・一五事件から二・二六事件にかまけて、軍部の影響力が増大していく過程を考察する。・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察する。・第二次世界大戦について、国家間の相違や総力戦の特色を踏まえ、この戦争が空前的惨禍をもたらした点に着目して、平和で民主的な国際社会の実現に努める重要性を認識する。・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれともなう諸改革について、その経過と内容を理解する。</li> </ul>	a	課題考査 定期考査
	3 第二次世界大戦			b	課題考査 定期考査
	第16章 占領下の日本			c	授業の取り組み
	1 占領と改革				

	2 冷戦の開始と講和		る。・戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を考察する。・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結して日本が独立した意義を考える。・連合国による日本占領の終結と、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察する。		振り返りシート
3	第17章 高度成長の時代 1 55年体制 2 経済復興から高度経済成長へ  第18章 激動する世界と日本 1 経済大国への道 2 冷戦の終結と日本社会の変容  現代日本の課題の探究	9	・独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制の成立から安定した保守政権となるまでの経過を理解する。冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察する。・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化と国内の技術革新などの側面に着目して考察する。・消費革命による社会の変貌と、経済成長がもたらしたひずみである社会問題について理解する。・ドル＝ショックや石油危機を踏まえて、主要先進国首脳会議が開かれた意義を理解する。高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察する。・冷戦体制の終結とそれに関わる国内の状況について、日本の政治・外交・経済・生活文化面を踏まえて多面的・多角的にとらえる。・科学技術・産業の発達によって派生する環境問題やエネルギー問題などの日本の課題とそれに対する日本の役割を認識する。・災害を題材に、諸資料から情報を読み取って考察し、それを表現する方法を学ぶ。・事例を参考に、自ら適切な主題を設定して歴史を探究し、表現する。	a  b  c	課題考査 定期考査  課題考査 定期考査  授業の取り組み 振り返りシート

計 105 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・週末課題としてその週に学習した内容を「ウィングコンパス」などで復習し、週明けに提出。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。

## 8 担当者からの一言

「歴史総合」の学習によって身につけた資質・能力を基に、日本の歴史について地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、事象の意義、伝統と文化の特色などを考察し、よりよい社会の実現を視野に現代の日本の課題を探究します。史料や図版なども活用して、深い学びになることを期待します。

(担当：樋口)